

各巻収録書目解説

第1巻「燈史 1」

景德伝燈録・聯燈会要・嘉泰普燈録

達磨禅の伝燈嗣承を、各祖师の機縁や語句を中心として師資相承の系譜順に集成した文献が燈史（禅宗史書）。本巻には宋代の大部三種を収録。

宋初に入蔵した『景德伝燈録』三〇巻は著名な重要文献。近年古版の影印がなされるが、みな小異があり、五山版は本巻が最初。しかも最古の完本である国会図書館本を収める。

この『景德伝燈録』を最初とする宋代五燈録の第四が『聯燈会要』三〇巻。宋版の伝本はなく、五山版も完本はここに収録する両足院蔵本のみ。斯界待望の貴重文献の公開であり、従来不毛の本書文献研究に大きく寄与するテキスト。

同じく第五の『嘉泰普燈録』三〇巻は、五山版の伝本はやや多いが、やはり影印は最初。これも両足院本を採録。

第2巻「燈史 2」

伝法正宗記・五燈会元

本巻には著名な燈史二種を収録。

雲門宗第五世の仏日契嵩が教家の批難に對抗して『伝法正宗記』『伝法正宗論』『伝法正宗定祖図』の三書一二巻を著わし、上進して北宋の開宝蔵に続入蔵。以後歴代の蔵経に収められる

が、しだいに三書が分断され絵図が省かれるなど変遷。五山版は鎌倉期の靈山寺刊本が端本のため、その覆刻で唯一の完本である天理図書館本を収録。原初形態を遺存する貴重文献である。南宋末に臨済宗大慧派の人によって成る『五燈会元』二〇巻は、前記五燈を改編総合した重要文献。宗元版にはみな小異があり、五山版は最古版には欠陥があるため、本巻にはその覆刻完本の大東急記念文庫本を採録する。重要書ながら文献研究は進んでいないので、この影印は貴重。

第3巻「燈史 3ほか」

僧宝正統伝・五家正宗贊・仏祖宗派図・祖庭事苑・

大蔵経綱目指要録

本巻には燈史二種のほか。安易な分類を許さぬ多彩な禅籍三種を収録。

宋版の伝本を絶ち、その面影が五山版によってのみ判明する文献こそ五山版の大きな特長。そんな典型の一つが石室祖秀編『僧宝正統伝』七巻（書陵部蔵）や希叟紹曇撰『五家正宗贊』一卷（両足院蔵）。特に後者はわが禅林の愛読書であり、現存最古の不分巻テキストが初公開される。

禅門最古の事典とされる『祖庭事苑』八巻も、すでに五山版が最古。国会図書館の完本を影印収録。

同じ五山版でも現存唯一本の稀書が汝達編『仏祖宗派図』一帖と『大蔵経綱目指要録』八巻。前者は「禅字典籍叢刊」収録の宋版と、後者は宋版三種との、各文献研究にとって必須のテキストとなる。ともに大東急文庫の所蔵。

第4巻「綱要」

宗鏡録

中国が生んだ多くの仏教文献の中で、もつとも浩瀚ながらもつとも読まれているのが『宗鏡録』。一百巻であり、本巻はこの一書のみを収録。

本書は、教禅一致の立場から諸宗の教義を体系化した仏教総論であるため、宋代以降のすべての大蔵経に入蔵し、宗派を超えて今日まで大きな影響を及ぼしてきた。だが、撰者の永明延寿はれっきとした法眼宗三世の禅者。たしかに、本書は標宗・問答・引証の三章から成るが、さいごの引証章は一心を中心テーマとし、禅門語句の引用で彩られる。

伝本稀少の五山版のうち、本巻に収めるのは大東急記念文庫所蔵の初印善本。浩瀚で版本が多いことからテキスト研究が未解明な本書にとって、この影印は大きな貢献となる。

第5巻「清規、綱要」

禅苑清規・無量寿禅師日用清規・叢林校定清規惣要・幻住庵清規・勅修百丈清規・禅門宝訓集・大慧普覺禅師宗門武庫・人天眼目・人天宝鑑・緇林宝訓・林間録、付後録・感山雲臥紀談・叢林公論・枯崖和尚漫録

本巻には、禅門修行の規範を定めた古清規類五種と、各種綱要書九種の、各五山版中の最善本を収録。全体的には大慧派の

著述が多い。

現存最古の清規として著名な『禅苑清規』と、これに続く『無量寿禅師日用清規』の各五山版は、ともに現存唯一本の貴重な大東急本を収める。特に後者は入蔵本とは異なる覆元版で、文字どおり世界唯一本の初公開。

宋元版のない『叢林校訂清規惣要』（両足院）と『幻住庵清規』（大東急）は、各五山版中の最古本を、『勅修百丈清規』（駒大）は五山版中の初刻本をそれぞれ採録。

大慧の『宗門武庫』（国会）、『人天眼目』（天理）、『人天宝鑑』（国会）、『枯崖和尚漫録』（京大）は、各五山版中の初刻本を収める。また、未入蔵の『緇林宝訓』（天理）や、『林間録』（大東急）、『感山雲臥紀談』（岩瀬文庫）も同じ。『叢林公論』（慶大）は天下一本の鎌倉期刊本を収録。その他、『禅門宝訓集』（国会）も収める。

第6巻「語録 1」

初祖三論・少室六門・伝心法要・禅源諸詮集都序・鎮州臨濟慧照禅師語録（臨濟録）・雲門禅師広録・開福寧禅師語録（潭州開福禪寺第十九代寧和尚語録）・圓悟禅師心要（仏果圓悟真覺禅師心要）・虎丘隆和尚語録・応庵和尚語録・密庵和尚語録（密庵語録）・松源和尚語録・破庵和尚語録・運庵和尚語録・曹源和尚語録

以下、菩提達磨から唐・宋代の語録を四巻に分けて収録する。

本巻は多彩な一六種。

達磨に帰せられる『初祖三論』（駒大）と『少室六門』（六地藏寺）は五山版影印が最初。特に後者は現存一本の初公開である。

黄檗の『伝心法要』（金沢文庫）は鎌倉期の古刊本、宗密の『禪源諸詮集都序』は現存唯一の大英博物館蔵の五山版を、それぞれ収録。『雲門広録』（両足院）も鎌倉期の最古刊本、数ある『臨済録』は内閣文庫本を採録。

宋代語録では、宋元版の伝本がなく五山版が最古版のものに、『開福寧禪師語録』（書陵部）『圓悟禪師心要』（大東急）『応庵和尚語録』（国会）『運庵和尚語録』（同）『松源和尚語録』（天理）『曹源和尚語録』（両足院）、の諸本を収める。

その他、同種の五山版中の最古刊または最善本の『雪峯空和尚語録』（両足院）『虎丘隆和尚語録』（天理）『密庵和尚語録』（国会）『破庵和尚語録』（同）をも採録。

第7巻「語録2」

北礪語録・仏鑑禪師語録（無準和尚語録）・癡絶和尚語録・大川和尚語録・介石禪師語録・仏海禪師語録（石溪録）・兀庵和尚語録・無門和尚語録（無門語録）・断橋和尚語録・偃溪（仏智禪師）和尚語録・物初和尚語録

本巻には、引続き宋代の語録一種を収録する。うち五種は大慧派のものが占める。

希少価値の上からは、『癡絶和尚語録』（東北大）と『介石禪

師語録』（内閣）の両書は、ともに宋元版がなく、五山版も現存一本という最貴重文献。

また、『断橋和尚語録』（京大）『偃溪和尚語録』（天理）『物初和尚語録』（同）の三種は、所蔵こそ複数本が知られるが、やはり宋元版の伝本が皆無であるから、現存最古版を収録。

その他、『北礪語録』（両足院）と『石溪録』（同）の最善本をはじめ、『仏鑑禪師語録』（国会）『大川和尚語録』（京大）『兀庵和尚語録』（東大）『無門和尚語録』（書陵部）と、各機関の貴重文献が集まる。とりわけ、無準師範の『仏鑑禪師語録』六巻本は、現存宋版二本をはじめ各版との文献史研究の上で必須の重要資料。

第8巻「語録3」

虚堂和尚語録・希叟和尚語録・蘭溪和尚語録・横川和尚語録・高峰和尚語録・月江和尚語録・清拙和尚語録・笑隱和尚語録・了庵和尚語録

本巻には、宋元代の比較的著名な禅者の語録九種を収録。底本の宋元版が伝を絶ち現存する五山版が世界最古版となっていて、ここに収録する貴重文献には『希叟和尚語録』（大東急）『蘭溪和尚語録』（建長寺）『月江和尚語録』（書陵部）『清拙和尚語録』（大東急）『了庵和尚語録』（国会）の五種がある。

同じく底本の伝本がない『笑隱和尚語録』（両足院）は最善本を採録。また、宋元版が現存し、それに次ぐ古版の五山版として、『虚堂和尚語録』（駒大）『横川和尚語録』（天理）『高峰和尚

語録』（大東急）の各文献を収める。それぞれ版の多い語録であるだけに、テキスト研究の上からは貴重な公開となること必定。

第9巻「語録4」

平石和尚語録・愚庵（智及）和尚語録・天目中峯和尚
広録・天目中峯語・因師集賢語録

語録の掉尾は、同じく宋元代の著述五種。

底本の伝本がなく、現存する最古版となっている五山版の文献では、『平石和尚語録』（天理）と『愚庵和尚語録』（両足院）の二種を収録。

大部の『天目中峯和尚広録』三〇巻（静嘉堂）は元版はじめ多くの異版があるので、文献研究の上からもこの五山版影印は貴重。『天目中峯語』一卷（国会）は、「法語」を合冊した珍しい別版である。

なお、徳因撰『因師集賢語録』一五巻（両足院）は宋代の撰述であるが、通常の語録とは色彩を異にして偈頌や詩文が多いため、あえて語録の末尾に置く。文献的には貴重なテキストである。

第10巻「詩文・尺牘」

鐔津文集・雪峯空和尚外集・北磻文集・北磻外集・
北磻詩集・蒲室集・黄龍山南禅師書尺・大慧禅師
書・靈源和尚筆語

本巻には、五山禅林で文範として重用された、宋元代の詩文六種と尺牘（書簡）三種を収録。過半数が大慧派の述作である。詩文では、五山で何度も刊行されながら宋版が伝存しない『雪峯空和尚外集』（駒大）は、五山版中の初刊テキストを収める。大部の『鐔津文集』二〇巻（国会）も、同じく最善本を採録。

『北磻文集』（内閣）は現存宋版の欠巻を補う貴重文献。内容は詩集であるが、同じ著者による『北磻外集』と『北磻詩集』（ともに内閣）もここに収める。『蒲室集』（国会）は全二〇巻の五山版刊本がないので、やむなく「疏」のみの一冊を収録。

尺牘では、宋元版がなく五山版も唯一本という『黄龍山南禅師書尺』（大谷大）の貴重文献のほかに、これも流行した『大慧禅師書』（京大）と『靈源和尚筆語』（静嘉堂）で構成する。わが禅界で宋の「三大師尺牘」と称されるものの豪華な五山版揃い踏み。

第11巻「偈頌・詩」

禅門諸祖師偈頌・寒山詩集・祖英集慶元府雪寶明
覚大師祖英集・蔵叟摘藁・雲岑和尚統集・碧山堂
集・白雲集・金玉編・澹居藁・澹游集・雪廬藁雪
廬稿）・全室外集・独菴外集統藁・天厨禁蘂

本巻には、五山禅林を中心に重用された偈頌・詩作の一四種を一挙に収録。全体的にやはり大慧派の著作が多く、また未入蔵書や世界にこれ一本という稀書が豊富に含まれ、まさにわが

五山版の文献的価値を天下に知らしめる庄巻障目の一冊。

未入蔵で大陸版もなく、文字通り世界最古の刊本は多く、『葳叟摘藁』（東北大）『雪岑和尚統集』（両足院）『碧山堂集』（大谷大）『白雲集』（天理）『金玉編』（両足院）『澹居藁』（大谷大）『澹游集』（内閣）『雪廬藁』（同）『独庵外集統藁』（両足院）『天厨禁燵』（同）『全室外集』（天理）、の一一種にのぼる。うち、『澹游集』『独庵外集統藁』『天厨禁燵』の三種は、現存唯一本の五山版。

一方、『禅門諸祖師偈頌』（早大）は江戸版こそあるが、やはり現存唯一の五山版。『祖英集』（内閣）と『寒山詩集』（大谷大）は、ともに五山版最古の鎌倉期刊本を収録する。

第12巻「注解・公案」

金剛経口訣・禅宗永嘉集(注)・碧巖録(佛果圓悟禪師
碧巖録)・無門関・正法眼蔵・大光明蔵・拈八方珠
玉集

本巻には、注解二種と公案集五種を収録。

五山版の経疏や注書は少なくないが、ここでは六祖慧能の『金剛経口訣』（京大）と宋代行靖の『禅宗永嘉集(注)』（大東急）のみを採録。ともに宋元版の伝わらぬ最古版であり、特に前者は現存唯一の五山版稀書。

天下唯一本の古版といえ、『無門関』（大中院）と大慧の三巻本『正法眼蔵』（両足院）も同じ貴重文献。うち、前者は日本で大流行の禅書だけに、その最古版の初公開は斯界待望の一書

である。

天下第一の禅書『碧巖録』（書陵部）は、宋版や道元の一夜本と並んで貴重な、同種五山版中の最古版を採録。同じく『大光明蔵』（駒大）と『拈八方珠玉集』（書陵部）も、同種中の最善本を収めて掉尾を飾る。

*収録書目および底本は一部変更になる場合があります。

【編集の基本方針と特色】

- ◆本叢刊は、五山版の中国禅籍の稀覯本を国内外から集成し、影印出版するものである。
- ◆影印は原則として、原本の現状に従って全ての頁を収録する。
- ◆巻末には各書目の解題を収める。

【印刷・造本】

- B5版／クロス装／函入／各巻平均五〇〇頁
- 本文Ⅱ影印・解題
- 本文用紙は、写真の再現性にすぐれた中性紙を使用し、堅牢な造本とした。

各卷収録書目一覽

第1卷 燈史 1

第1回配本

景德伝燈録

30卷

聯燈会要

30卷

嘉泰普燈録

30卷

第2卷 燈史 2

第6回配本

伝法正宗記

12卷

五燈会元

20卷

第3卷 燈史 3他

第7回配本

僧宝正統伝

7卷

五家正宗贊

4卷

仏祖宗派図

1卷

祖庭事苑

8卷

大藏経綱目指要録

8卷

第4卷 綱要

第8回配本

宗鏡録

100卷

第5卷 清規・綱要

第9回配本

禪苑清規

10卷

無量寿禪師日用清規

1卷

叢林校定清規惣要

2卷

幻住庵清規

1卷

勅修百丈清規

2卷

禪門宝訓集

2卷

大慧普覺禪師宗門武庫

1卷

人天眼目

3卷

人天宝鑑

1卷

緇林宝訓

1卷

第6卷 語録 1

第10回配本

林間録、付後録

3卷

感山雲臥紀談

2卷

叢林公論

1卷

枯崖和尚漫録

3卷

初祖三論

1卷

少室六門

1卷

伝心法要

1卷

禪源諸詮集都序

1卷

鎮州臨濟慧照禪師語録(臨濟録)

1卷

雲門禪師広録

3卷

開福寧禪師語録(潭州開福禪寺第十九代寧和尚語録)

1卷

圓悟禪師心要(仏果圓悟真覺禪師心要)

2卷

虎丘隆和尚語録

1卷

応庵和尚語録

2卷

密庵和尚語録(密庵語録)

2卷

松源和尚語録

2卷

破庵和尚語録

9卷

運庵和尚語録

1卷

曹源和尚語録

1卷

第7卷 語録 2

第2回配本

北磻語録

1卷

仏鑑禪師語録(無準和尚語録)

6卷

癡絶和尚語録

2卷

大川和尚語録

2卷

介石禪師語録

1卷

仏海禪師語録(石溪録)

1卷

兀庵和尚語録

2卷

第8巻 語録 3

- 無門和尚語録(無門語録) 1巻
- 断橋和尚語録 1巻
- 偃溪(仏智禪師)和尚語録 2巻
- 物初和尚語録 1巻

第11回配本

第9巻 語録 4

- 虚堂和尚語録 3巻
- 希叟和尚語録 1巻
- 蘭溪和尚語録 2巻
- 横川和尚語録 2巻
- 高峰和尚語録 1巻
- 月江和尚語録 2巻
- 清拙和尚語録 1巻
- 笑隱和尚語録 2巻
- 了庵和尚語録 9巻

第3回配本

第10巻 詩文・尺牘

- 平石和尚語録 1巻
- 愚庵(智及)和尚語録 2巻
- 天目中峯和尚語録 30巻
- 天目中峯語 1巻
- 因師集賢語録 15巻
- 鐔津文集 20巻
- 雪峯空和尚外集 1巻
- 北礪文集 10巻
- 北礪外集 1巻
- 北礪詩集 9巻
- 蒲室集 20巻

第4回配本

第11巻 偈頌・詩

- 黄龍山南禪師書尺 1巻
- 大慧禪師書 2巻
- 靈源和尚筆語 1巻

第5回配本

第12巻 注解・公案

- 禅門諸祖師偈頌 2巻
- 寒山詩集 1巻
- 祖英集(慶元府雪竇明覺大師祖英集) 2巻
- 歳叟摘藁 2巻
- 雲岑和尚統集 2巻
- 碧山堂集 5巻
- 白雲集 4巻
- 金玉編 3巻
- 澹居藁 1巻
- 澹游集 3巻
- 雪廬藁(雪廬稿) 1巻
- 全室外集 9巻
- 独菴外集統藁 5巻
- 天厨禁燭 3巻
- 金剛経口訣 1巻
- 禅宗永嘉集(注) 1巻
- 碧巖録(佛果圓悟禪師碧巖録) 10巻
- 無門関 1巻
- 正法眼蔵 3巻
- 大光明蔵 3巻
- 拈八方珠玉集 3巻

第12回配本

◆各巻の収録書目・配本順は変更になることがあります。ご了承ください。

七千九百一十七字至當年臘月一日畢工隨即印檢三百部於兩浙安衆名山方丈蒙堂衆寮各一部以便湖海轉道禪衲叅究集茲善利用報四恩併資三有者

大元延祐三年臘月一日耆舊僧 希渭 謹狀

小比丘 文雅 董役

當山住持嗣祖比丘 玄洵 主緣

景德傳燈錄卷第一

七佛 天竺祖師

毗婆尸佛

拘舍浮佛

釋迦牟尼佛

第一祖摩訶迦葉

第三祖商那和修

第五祖提多迦

第七祖須蜜

第九祖伏馱蜜多

尸棄佛

拘留孫佛

迦葉佛

第二祖阿難

第四祖優波鞠多

第六祖彌遮迦

第八祖佛陀難提

第十祖脇尊者

景德傳燈錄 第一冊 (一ウ・二オ・三ウ・一三オ)

第十一祖富那夜奢 第十二祖馬鳴大士
第十三祖迦毗摩羅 第十四祖龍樹大士

殺七佛

古佛應世降歷無窮不可以周知而悉數也故近護賢劫有千如來暨于釋迦但紀七佛察長阿含經云七佛精進乃放光滅暗冥各各坐諸樹於中成正覺又曼珠室利為七佛祖師金華善慧大士登松山頂行道感七佛引前維摩接後今之撰述斷自七佛而下
毗婆尸佛 過去莊嚴劫第九十億四千萬那由他阿僧祇劫中起諸惡業亦是幻身幻人心識本來無罪福皆空無所住長阿含經云壽七萬歲時此佛出世種種利利姓拘利若父繫頭母繫頭婆提居般頭婆提城坐波波羅樹下說法三會度人三十四萬人神足二名茶茶二名提舍侍者無憂子方鷹

尸棄佛 莊嚴劫第九十億四千萬那由他阿僧祇劫中起諸善法本是幻造諸惡業亦是幻身如聚沫心如風幻出無根無實性長阿含經云壽七萬歲時此佛出世種種利利姓拘利若父明相母光耀居光相城坐分陀利樹下說法三會度人二十五萬神足二名阿毗濟二名藍婆侍者慈行子無量

毗舍浮佛 莊嚴劫第九十億四千萬那由他阿僧祇劫中起諸善法本無生因境有前境若無心亦無罪福如幻起亦滅長阿含經云壽六萬歲時此佛出世種種利利姓拘利若父善燈母稱戒居無前城坐婆羅樹下說法三會度人二十三萬神足二名提舍侍者寂滅子妙覺拘留孫佛 莊嚴劫第九十億四千萬那由他阿僧祇劫中起諸善法本無生因境有前身心本性空斯人與佛何殊別長阿含經云壽四萬歲時此佛出世種種婆羅門姓迦葉父禮得母善技居安和城坐尸利沙樹下說法三會度人四萬神足二名提舍侍者善覺子上勝